

学習特待（A 特待生）の認定条件の追加について

2018年9月1日

広報募集本部

学習特待（A 特待生）の認定条件ですが、募集要項では

① 一般入試での成績上位生徒

（合格者のうち5教科入試得点上位10%程度の者）

② 推薦入試での学習点上位生徒

（1）札幌・北広島・恵庭・千歳・江別市内中学校卒業見込みの者。（各校2名以内）
学習点286以上で、3年間の5教科評定の合計が72以上。

（2）（1）以外の中学校卒業見込みの者。（各校1名）

学習点296以上で、3年間の5教科評定の合計が72以上。

となっておりますが、今回新たに

③ 札幌南、札幌北、札幌西、札幌東の4校の一般入試合格生徒

（本校プレミアムSコース・特進コース受験生徒が対象）

が追加されることになりました。

詳しい手続きについては、受験する際に配布される資料でご確認ください。

2018年度入試における北海道大学の道内出身者の割合は36.1%（前期）と過去最低となりました。この結果の受け止め方はいろいろあると思いますが、北海道内の子供たちの潜在能力を考えると、本校ではこの数字をまだまだ伸ばしていけると考えています。

2020年の大学入試改革による推薦・AO入試の枠の増加に伴い、多様な個性が評価されて大学に進学できる時代がやってきます。

本校は、生徒一人ひとりを大切にしたい人間教育・個に応じた学習指導・手厚い進路指導はもちろんのこと、私学として、いち早く公立の学校と差別化した「特色のある教育活動」（下記に記載）に取り組んできました。

その結果、一般入試だけではなく、推薦・AO入試においてそれぞれの能力を開花させ、難関大学への進学を実現してきた実績があります。

「特色のある教育内容」

○プレミアSコース

全国の難関大学の進学生徒の多く占める中高一貫校と同様の進度を取るために、数・英の先取り教育を実施している

○SSH（スーパーサイエンスハイスクール）

企業、大学と連携し、最先端の科学技術を学ぶプログラムを受講し、将来の科学技術を担う人材を育成するプログラム

○SGH（スーパーグローバルハイスクール）

思考力・発想力・表現力を伸ばし、世界で活躍するビジネスリーダーを育成するプログラム

○豊富な国際交流プログラム

企業の協賛を受けたり、世界に複数ある姉妹校と連携した国際交流プログラム

本校に入学した生徒は、通常の学習活動や部活動に加え、能力や希望に応じてこれらの活動を選択することができます。学業と両立しながら、これらの多種多様な活動に取り組み、難関大学への進学を目指す生徒が日々意欲的に活動しています。

札幌のトップ校と呼ばれる高校に進学する生徒が、本校の充実した教育プログラムを受けた場合、どこまで生徒の力が伸びるのか想像がつきません。多くの生徒の可能性がより広げることが期待できます。

今回、札幌の東西南北に合格できるような生徒に多く入学してもらい、本物の教育を受けることで、それぞれの持つ無限の可能性を極限まで広げていきたい、それが北海道への貢献、日本そして世界への貢献につながると考えています。

北海道、そして日本のこれからのを支える人材を育成するため、多くの優秀な生徒が充実した教育を受ける機会を増やす施策として、特待生制度を追加することになったことを皆様にお知らせいたします。